

森と木に関わる 生き方を めざす人へ

卒業生特集

newsletter no.010

2012.12

岐阜県立 森林文化アカデミー

木の器づくり 職人1年生

10期生 富張 菜々子さん(大野ふるさと公社・木工房)

富張菜々子さんは岩手県出身。森林文化アカデミー・ものづくり講座在籍中に東日本大震災が起き、地元も大きな被害を受けました。卒業後、富張さんは岩手へ戻り、洋野町の「大野ふるさと公社」の木工房で働いています。ここは保育園で木の給食器が使われていることで全国的に知られ、富張さんはその食器づくりをしているのです。まだ作るペースは先輩たちの5分の1だそうです。が、だんだん色々な種類の器を作れるようになってきているようです。器の裏には職人さんごとに異なる焼印が押されていて、年明けには富張印もお目見えします。

こうした仕事のほか、高校の木工の授業や、子ども向けの木工体験をお手伝いすることもあります。そこで生かされるのが「木育」に力を入れる森林文化アカデミーでの体験。「子どもがうまく作れなくて顔を曇らせているときに『それ素敵だね～いいね～』と言えるのは、アカデミーで学んだことです」と富張さん。これからも木工に木育に、活躍を期待しています。



自分の強みを持ち、家業を継ぐ

10期生 小林 伸之輔さん(OM建築工房 株式会社)

小林さんの夢は、実家の工務店を継いでさらに発展させること。大学を卒業後、そのまま実家に就職するのではなく、自分だけの強みを身に付けたいとアカデミーの木造建築講座に入りました。小林さんは、一年かけて仲間たちと自力建設を作り上げ、木造建築の基礎を身に付けました。課題研究では、夏季に設備に頼らない住まいを研究し、新しい住まい方の可能性を見出しました。

現在は、太陽熱を活用した住宅を手掛ける工務店で活躍中です。昼は現場を飛び回り、夜は施工図面を描くといった、充実した日々を過ごしています。持ち前の明るさと行動力で、現場の職人さんにも人気があり、いい雰囲気の中で、仕事をしています。

実家は、地域材を用いて、太陽のエネルギーを活用した取組で全国から注目を集めるトップランナーの工務店です。将来、実家に戻ってもキラリと光る小林さんだけの強みを活かし、さらに活性化してくれることでしょう。



森と木のクリエイター科



林業再生



山村づくり



自然体験活動指導者
インタープリター養成



木造建築



ものづくり

森と木のエンジニア科



(森林・林業・木材利用)

岐阜県立森林文化アカデミーは、森林を多面的に活用し、新たな森林文化の創造に寄与できる人材を育成する2年制の専修学校です。

大卒または実務経験者が対象の森と木のクリエイター科では「林業再生」「山村づくり」「木造建築」「ものづくり」のいずれかの講座に所属して専門的に学び、高卒以上の人を対象とする森と木のエンジニア科では、全員が「森林・林業・木材利用」を学びます。

森と木の就職・転職セミナー

開催日：12月16日（日） 東京
会場：新木場モデルハウス

開催日：1月5日（土） 岐阜
会場：じゅうろくプラザ

エコプロダクツ2012出展

開催日：12月13日（木）～15（土）
会場：東京ビッグサイト

東京

より詳しい情報は、森林文化アカデミーHPへ。教員や学生がつづるブログは、学校の雰囲気がよく分かります。

森林文化アカデミー

検索



子どもと自然をつなげたい!

7期生 辻祥悟さん(NPO法人しずおか環境教育研究会“エコエデュ”)

「環境教育を一生の仕事にしたい!」と大学卒業後すぐにアカデミーに入学した辻さんは、在学中、キャンプや森のようちえんなど数々のナマの現場を通して環境教育の技術を学びました。

アカデミー卒業後は、その経験を活かして里山を舞台に環境教育を通して人づくりをしているNPO法人に就職。今では、現場の対応はもちろん数々の事業運営をこなす程の活躍ぶりです。

そんな辻さんがアカデミー在学中に得た最大の宝物は、「学び方」を学べたこと。ただ口を空けて魚(技術や知識)を食べさせてもらうのではなく、「釣り方(考え方や学び方)」を教えてもらったことが、今の職場で役立っているそうです。今後の夢は、幼児をはじめ多くの子どもたちが自然に触れる空間をもっと増やしていくこと。その素晴らしい夢を次々と釣り上げていって欲しいものですね。



地域の自然と文化を受け継ぐ

8期生 柏春菜さん(NPO法人かみえちご山里ファン倶楽部)

アカデミーを卒業後、現在の職場に就職した柏春菜さんは、在学中に人と自然との関係について学びました。特に課題研究では、里山の草地で、昔ながらの山里の人の暮らしと、そこに暮らす生きものの関わりを、聞き取りと科学的な調査を組み合わせで見事に浮かび上がらせました。

現在は、環境学習施設のある集落をフィールドにして、自然とともに生きる暮らしを子供たちに伝え、生きる力を育むことを目的に活動しています。また、地元の方に講師をお願いして、千年続いてきた棚田を保全する事業に携わったり、地域の民俗行事やイベントを手伝ったりしながら、雪国の伝統文化を守り伝える仕事をしているそうです。

アカデミーで学んだ、「自然を理解する目」と「地域に入り込む力」を武器に、今日も活き活きと働いている柏さん、これからも日本の素晴らしい里山の文化と自然景観を守り続けていって欲しいと思います。



地域で学び、地元で働く。

8期生 田口大介さん(郡上森林組合 森林整備課)

田口さんは、岐阜県郡上市出身。地元の高校を卒業後、大学で自然・環境について学び、アカデミーに入学しました。卒業後は、郡上森林組合に就職・現場の作業班で鍛え上げられ、現在、技術職として森林管理・集約化や緑の雇用等に携わっています。

アカデミーの授業では森林組合、林業事業体等を調査や見学する機会が多く、自分にあった仕事や勤務先をじっくり検討し就職しました。森林組合の仕事は、地域の森林所有者、森林・林業に携わる機会が多く、やりがいを感じるとのこと。現在も様々な考え方や経歴を持つ多様な同期と連絡を取り合い、野球や白山登山、郡上踊りなど、みんなと楽しく過ごした学生時代の思い出に花を咲かせています。いつもニコニコ笑顔の絶えない田口さん、今年就職したアカデミー卒業生もあり、職場の良き先輩として頑張っていました。



入試日程(平成25年4月入学)

森と木のクリエイター科

一般入試3 2013年 1月27日(日)

一般入試4 2013年 3月10日(日)

森と木のエンジニア科

特別入試 2013年1月26日(土)

一般入試 2013年3月9日(土)

1月入試 出願期間 1月4日(金)~16日(水)

お問い合わせ

501-3714 岐阜県美濃市曾代88

岐阜県立森林文化アカデミー

tel 0575-35-2525 fax 0575-35-2529

email info@forest.ac.jp

www.forest.ac.jp